

社会資本総合整備計画

大田原西地区都市再生整備計画

平成 30 年 1 月 19 日

栃木県大田原市

社会資本総合整備計画（都市再生整備計画）

平成30年1月19日

計画の名称	1 大田原西地区都市再生整備計画										重点配分対象の該当																							
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）										交付対象	栃木県大田原市																						
計画の目標	<p>本地区は、一般国道400号及び一般国道461号による高い都市の利便性と用途地域に基づいた都市計画により小中学校等の教育施設や防災拠点となる美原公園等の都市機能が集積した良好な居住環境を維持する市街地である。市街地周辺部では、新興住宅整備の進行や魅力的な田園景観が形成されている。</p> <p>しかしながら、地区内の生活道路は無秩序な住宅整備によりスプロール化が進み、狭隘道路や歩道の無い通学路等があることから、安全安心な道路空間の形成が求められている。美原公園についても地域住民から利便性の向上や施設のバリアフリー化が求められている。</p> <p>このことから、生活道路の安全対策、公衆トイレのバリアフリー化等の利便性向上、並びに美原公園への備蓄倉庫設置等による防災対策の強化により良好な居住環境を形成し、安全・安心・快適でいきいきとした暮らしの創出を目指す。</p>																																	
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・道路、歩道に満足する人の割合を33.4%（H25）から50%（H30）へ増加 ・何らかのスポーツ・レクリエーションをしている人の割合を47.2%（H25）から60%（H30）へ増加 ・美原公園のイベント回数を47回/年（H25）から52回/年（H30）へ増加 																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H26当初)</th> <th>中間目標値 (H28末)</th> <th>最終目標値 (H30末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アンケート調査により地区内の道路、歩道の安全性に対する満足度を調査する。</td> <td>33.4%</td> <td>40%</td> <td>50%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンケート調査により何らかのスポーツ・レクリエーション活動をしている人数を調査する。</td> <td>47.2%</td> <td>53%</td> <td>60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>美原公園内で行われるスポーツ大会及びスポーツ教室等のイベントの開催数を集計する。</td> <td>47回/年</td> <td>50回/年</td> <td>52回/年</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	アンケート調査により地区内の道路、歩道の安全性に対する満足度を調査する。	33.4%	40%	50%		アンケート調査により何らかのスポーツ・レクリエーション活動をしている人数を調査する。	47.2%	53%	60%		美原公園内で行われるスポーツ大会及びスポーツ教室等のイベントの開催数を集計する。	47回/年	50回/年	52回/年	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)																															
アンケート調査により地区内の道路、歩道の安全性に対する満足度を調査する。	33.4%	40%	50%																															
アンケート調査により何らかのスポーツ・レクリエーション活動をしている人数を調査する。	47.2%	53%	60%																															
美原公園内で行われるスポーツ大会及びスポーツ教室等のイベントの開催数を集計する。	47回/年	50回/年	52回/年																															
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,146.1百万円	A	1,146.1百万円	B	C	D	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)																										
交付対象事業																																		
A 基幹事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																	
1-A-1	都市再生	一般	大田原市	直接	大田原市	大田原西地区都市再生整備計画事業	道路、地域生活基盤施設等 202ha	大田原市	H26	H27	H28	H29	H30	1,146.1																				
									合計					1,146.1																				
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																	
									H26	H27	H28	H29	H30																					
									合計																									
C 効果促進事業（該当なし）																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																			
									H26	H27	H28	H29	H30																					
									合計																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																							
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																			
									H26	H27	H28	H29	H30																					
									合計																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																							

交付金の執行状況

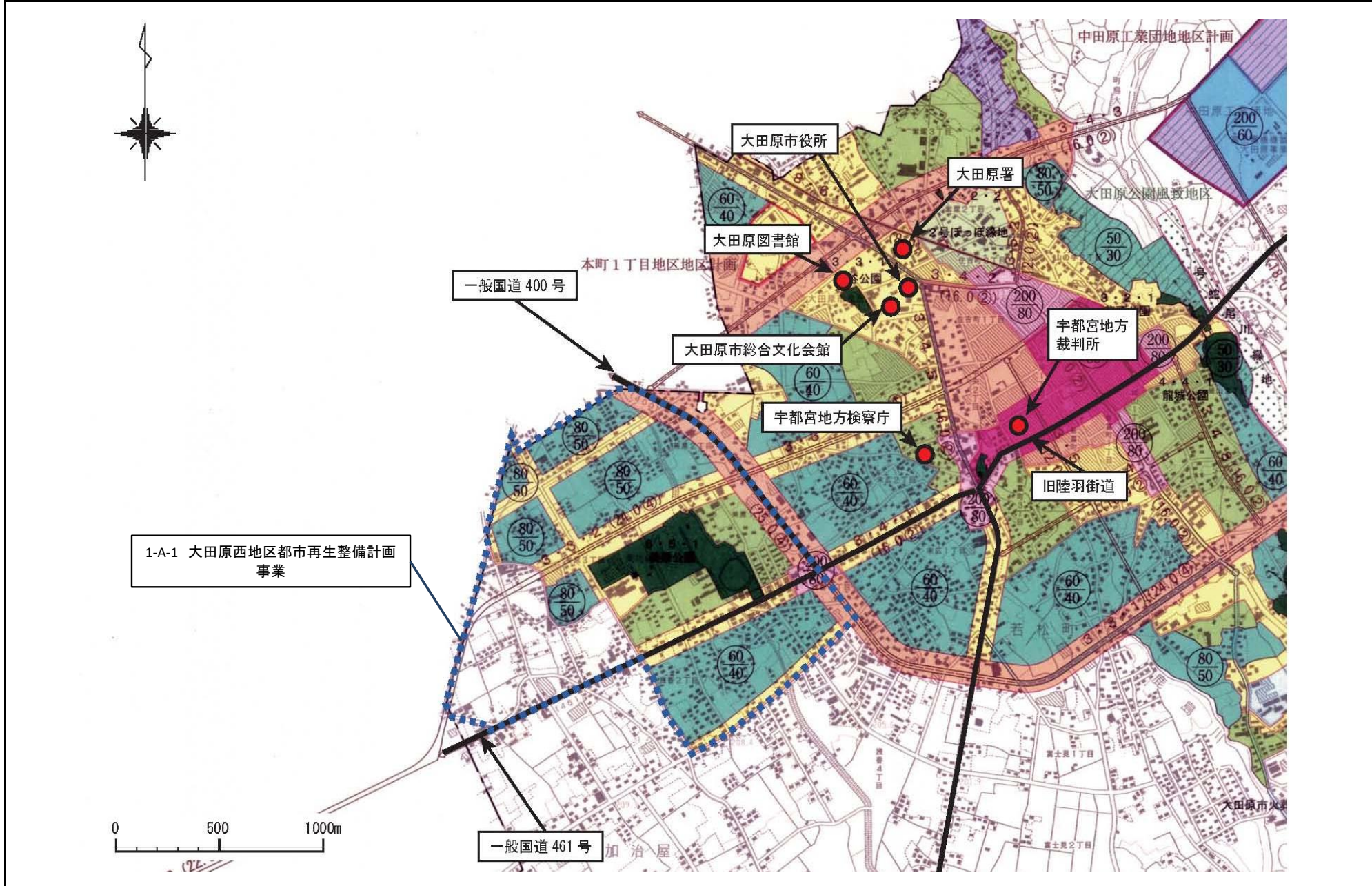
(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	35.42	254	75.2	30.1	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	35.42	254	75.2	30.1	
前年度からの繰越額 (d)	0	1.12	46.143	25.256	
支払済額 (e)	34.3	208.977	96.087	0	
翌年度繰越額 (f)	1.12	46.143	25.256	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。
 ※ 平成29年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考図面) 都市再生整備計画

計画の名称	1 大田原西地区都市再生整備計画	交付対象	栃木県大田原市
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)		



都市再生整備計画(第3回変更)

おおたわらし
大田原西地区

栃木県 おおたわらし
大田原市

平成31年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	栃木県	市町村名	大田原市	地区名	大田原西地区	面積	202 ha
計画期間	平成 26 年度	～	平成 30 年度	交付期間	平成 26 年度	～	平成 30 年度

目標

- 大目標 安全・安心・快適で、いきいきと暮らせるまちづくり
 小目標① 日常生活の安全性を確保した快適な都市空間の創出
 小目標② 利便性が向上した健やかな空間の創出

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・大田原市は、栃木県の北東部に位置する栃木県北部地方拠点都市地域の中心都市であり、平成17年10月に旧湯津上村、旧黒羽町と編入合併となった。本市西部に位置する大田原地区は、全市民の38.71%(平成25年4月1日現在)が居住し、本市の拠点施設である大田原市役所や県北の国・県の出先機関、教育・文化拠点である県北体育館、小中学校等の公共施設、並びに大型商業施設等が立地した都市機能が集積する地区である。中心市街地においては、内閣総理大臣より認可された中心市街地活性化基本計画に基づき、図書館等公共施設と商業施設が備わる複合ビル、市民の憩い場と災害時の避難場所となる多目的公園等が整備され、市民が利便性、賑わい、魅力を感じるまちの創出を進めている。
- ・本地区は、中心市街地より西方約2kmに位置する市街地であり、一般国道400号や一般国道461号等の広域幹線道路が形成する高い都市的利便性と、用途地域に基づく都市計画により小中学校等の教育施設や防災拠点となる美原公園等の都市機能が集積した良好な居住環境を維持している地区である。市街地周辺部では、計画的な土地利用が図られた新興住宅整備が進む区域や、農地と宅地が調和する魅力的な田園景観が形成される区域が形成されている。
- ・昭和33年に都市計画運動場として飛行機工場跡地に整備された美原公園は、本地区の中央に位置し、栃木県県北体育館、陸上競技場、市営プール、並びに野球場等の施設を備えており、全国規模の大会や地域住民の運動を楽しむスポーツ・レクリエーション活動の拠点となっている。また、美原公園は大田原市地域防災計画において避難場所として指定され、地域における重要な防災拠点である。避難時の収容人数は美原公園が約3万人、栃木県県北体育館は約1,800人が収容可能である。
- ・市街地においては、近年頻発する大雨や豪雨等により道路が冠水し、車両や歩行者の通行に支障が生じている。
- ・大田原市は平成7年に健康長寿都市として宣言し、「市民一人1スポーツ」のスローガンの下であらゆる年代の方が参加できるスポーツ教室等、積極的な健康づくりを推進している。

課題

- ・市街地において第一種低層住居専用地域への用途地域変更に伴う新興住宅整備により、無秩序な宅地造成のスプロール化が進み、道路整備が遅れ、狭隘道路や歩道未整備の箇所があることから、安心して暮らせる生活環境の整備が求められている。
- ・美原公園及び周辺は、立地条件及び県北体育館等の運動施設の整備により多くの利用者が訪れるが、整備より30年以上経過しておりバリアフリー未対応や老朽化した施設が多くなっていることから、誰もが安心して円滑に利用できる施設整備が求められている。

将来ビジョン(中長期)

- ・大田原市都市計画マスタープランに基づき、道路等の整備により安全安心な生活環境を形成し、ゆとりある居住環境を創出する。
- ・大田原市都市計画マスタープランに基づき、市民の防災拠点となる公共施設の整備により災害に強い都市基盤を形成し、防災体制の整備・強化を推進する。
- ・大田原市総合計画「新大田原レインボープラン」に基づき、公園等の都市基盤の機能充実により子どもから高齢者までのスポーツ・レクリエーション活動の支援やスポーツイベントを開催し、地域の活性化を推進する。

目標を定量化する指標

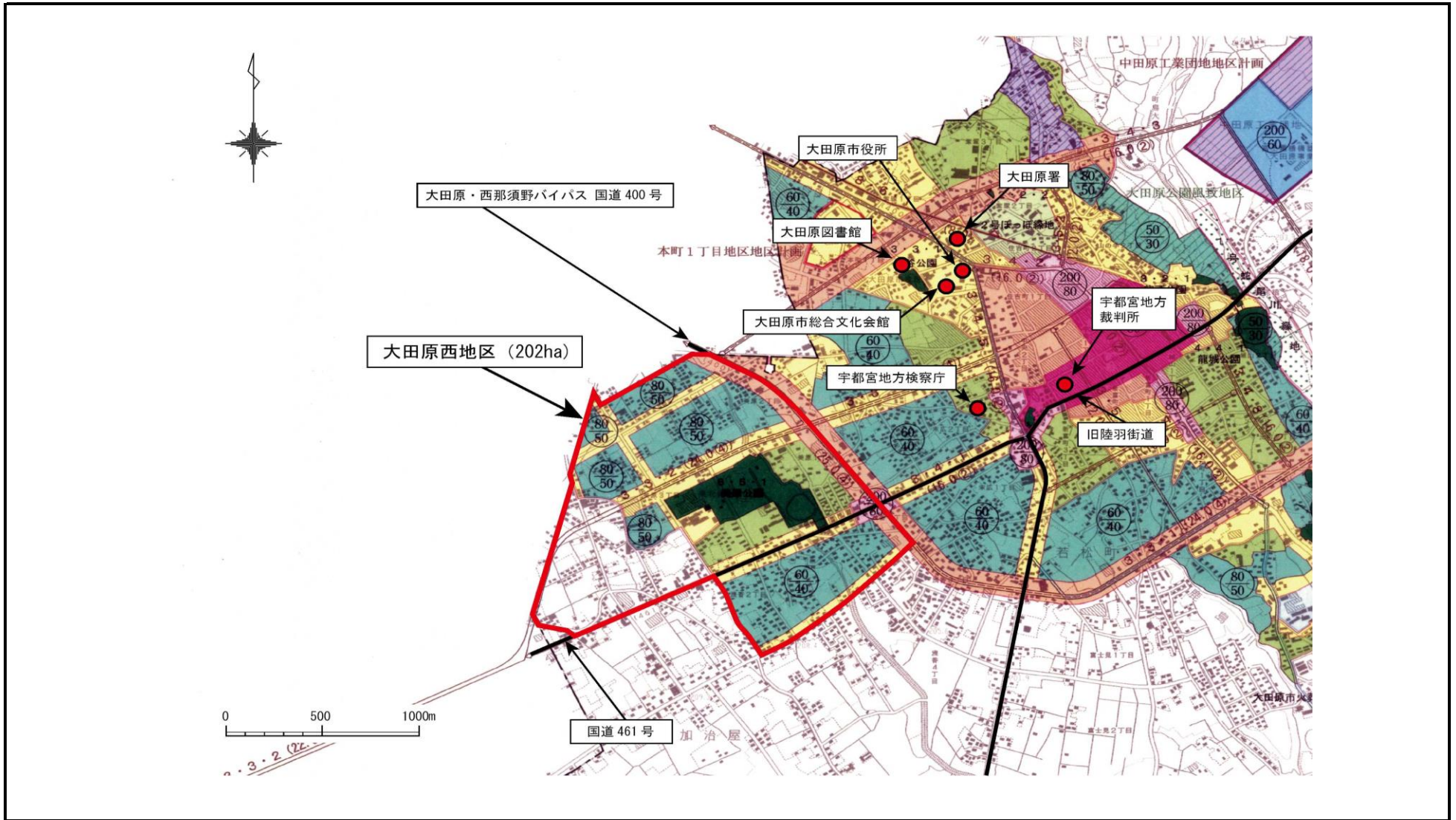
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		目標値	
			従前値	基準年度	目標年度	目標年度
道路、歩道の満足度	%	道路整備等に伴う生活環境について、住民の満足度(満足している・まあ満足しているの合計値)をアンケート調査により集計する。	33.4%	H25	50%	H30
何らかのスポーツ・レクリエーションをしている人の割合	%	美原公園及び周辺施設の整備に伴う利用状況について、何らかのスポーツ・レクリエーション活動をしている人数をアンケート調査により集計する。	47.2%	H25	60%	H30
美原公園のイベント回数	回/年	「市民一人1スポーツ」スローガンの推進によるスポーツ大会及びスポーツ教室等イベントについて、美原公園内で行われるイベント開催数を集計する。	47回	H25	52回	H30

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・日常生活の安全性を確保した快適な都市空間の創出</p> <p>車道の拡幅並びに歩道・車道を分離させることで、車両並びに歩行者の通行を円滑にし、安全・安心な道路空間を創出する。</p> <p>美原公園の防災機能を向上させることにより、避難場所としての機能充実を図る。</p> <p>豪雨などによる冠水被害が発生している箇所があり、道路整備と合わせた雨水排水路整備を行い、快適な居住環境を創出する。</p>	<p>【基幹事業】</p> <p>道路：市道大田原野崎線 道路：市道県北体育館西線 道路：市道美原205号 道路：市道美原309号 地域生活基盤施設：防災備蓄倉庫及び非常用電源施設(照明付)設置 地域生活基盤施設：美原公園北第2駐車場整備</p> <p>【提案事業】</p> <p>地域創造支援事業：ソフトボール球場改修</p> <p>【関連事業】</p> <p>市道県北体育館西線 市道美原205号 市道浅香205号 雨水排水路整備</p>
<p>・利便性が向上した健やかな空間の創出</p> <p>公園の施設をバリアフリー対応として、子どもや高齢者、身体が不自由な方が利用できる施設を整備することで、誰もが訪れる場を創出する。</p> <p>公園施設を改修し、機能充実に努め、スポーツイベントを開催することにより、地域の活性化を推進する。</p>	<p>【基幹事業】</p> <p>高質空間形成施設：バリアフリー化公衆トイレ改修 高質空間形成施設：外周路整備 地域生活基盤施設：美原公園北第2駐車場整備</p> <p>【提案事業】</p> <p>地域創造支援事業：公衆トイレ改修</p> <p>【関連事業】</p> <p>野球場夜間照明設置 プール改修</p>
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

大田原西地区(栃木県大田原市)	面積 202 ha	区域 美原1、2丁目の一部、美原3丁目の全部、浅香1、2丁目の一部、加治屋の一部
-----------------	--------------	---



大田原西地区(栃木県大田原市) 整備方針概要図

目標	大目標 安全・安心・快適で、いきいきと暮らせるまちづくり	代表的な指標	道路、歩道の満足度 (%)	33.4	(25年度)	→	50	(30年度)
	小目標① 日常生活の安全性を確保した快適な都市空間の創出		何らかのスポーツ・レクリエーションをしている人の割合 (%)	47.2	(25年度)	→	60	(30年度)
	小目標② 利便性が向上した健やかな空間の創出		美原公園のイベント回数 (回/年)	47	(25年度)	→	52	(30年度)

